

3.5 雪裡樋門湛水試験工程

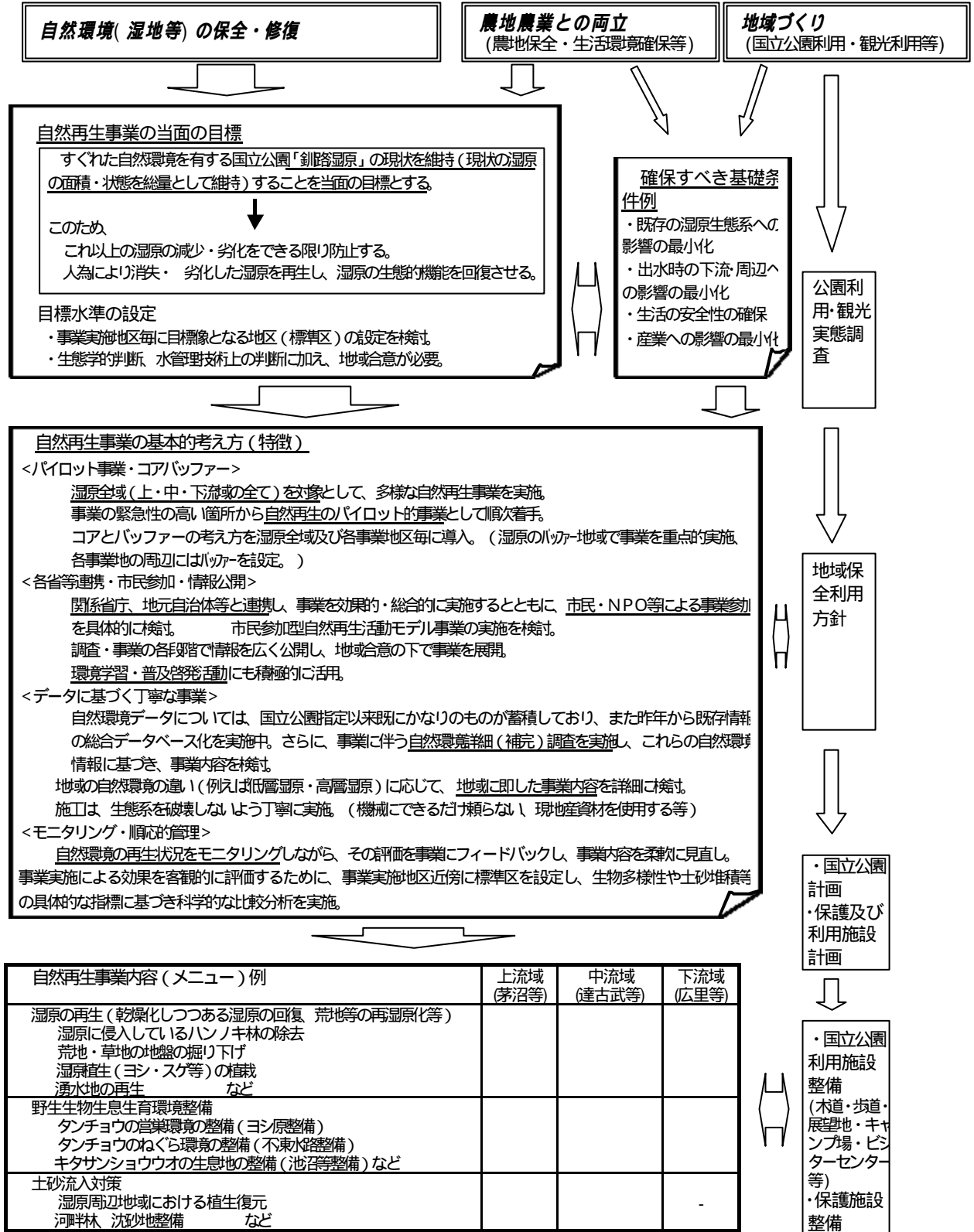
表 3-2 雪裡樋門湛水試験工程表

調査内容	平成11年度				平成12年度				平成13年度				平成14年度				平成15年度									
	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3		
植物調査																										
ハンノキ林調査																										
哺乳類調査																										
鳥類定点調査																										
昆虫類調査																										
魚類調査																										
タンチョウ調査																										
地下水位調査																										
気象調査																										
湛水範囲の確認																										
データ解析																										
湛水状況	<div style="display: flex; justify-content: space-between; align-items: center;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">水位</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">湛水位 2.90m程度</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">湛水開始</div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-between; align-items: center;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">湛水終了</div> </div>																									

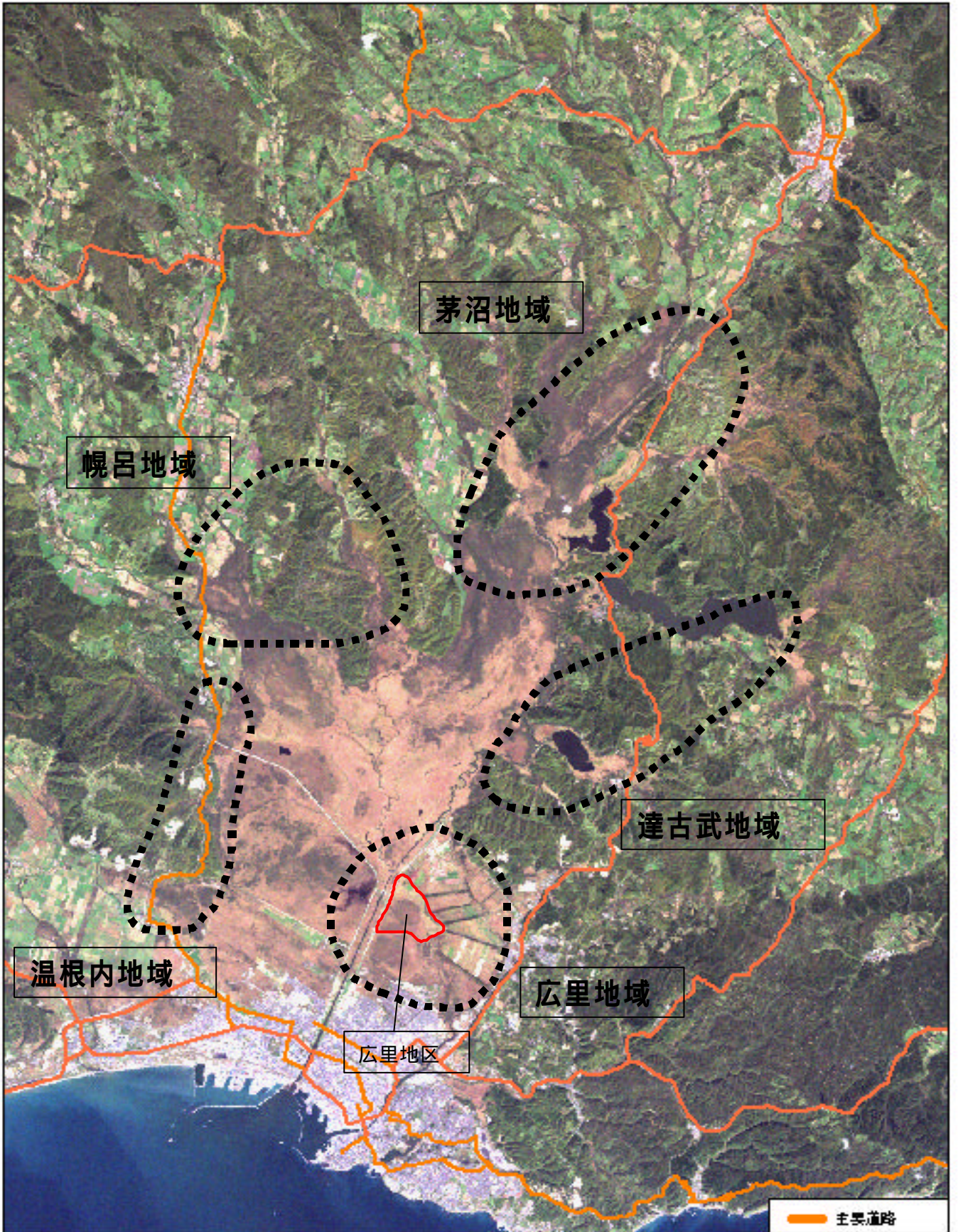
4. 広里地区湿原再生について

4.1 環境省の釧路湿原「自然再生事業」の基本方針

「釧路湿原の河川環境保全に関する提言」(平成13年3月：釧路湿原の河川環境保全に関する検討委員会(辻井達一委員長))のうち、国立公園等自然環境の観点から調査・計画・事業を強化・推進するため、環境省として、自然再生事業を実施。



*当面、 について、13年度補正・14年度予算による重点的な事業実施を検討

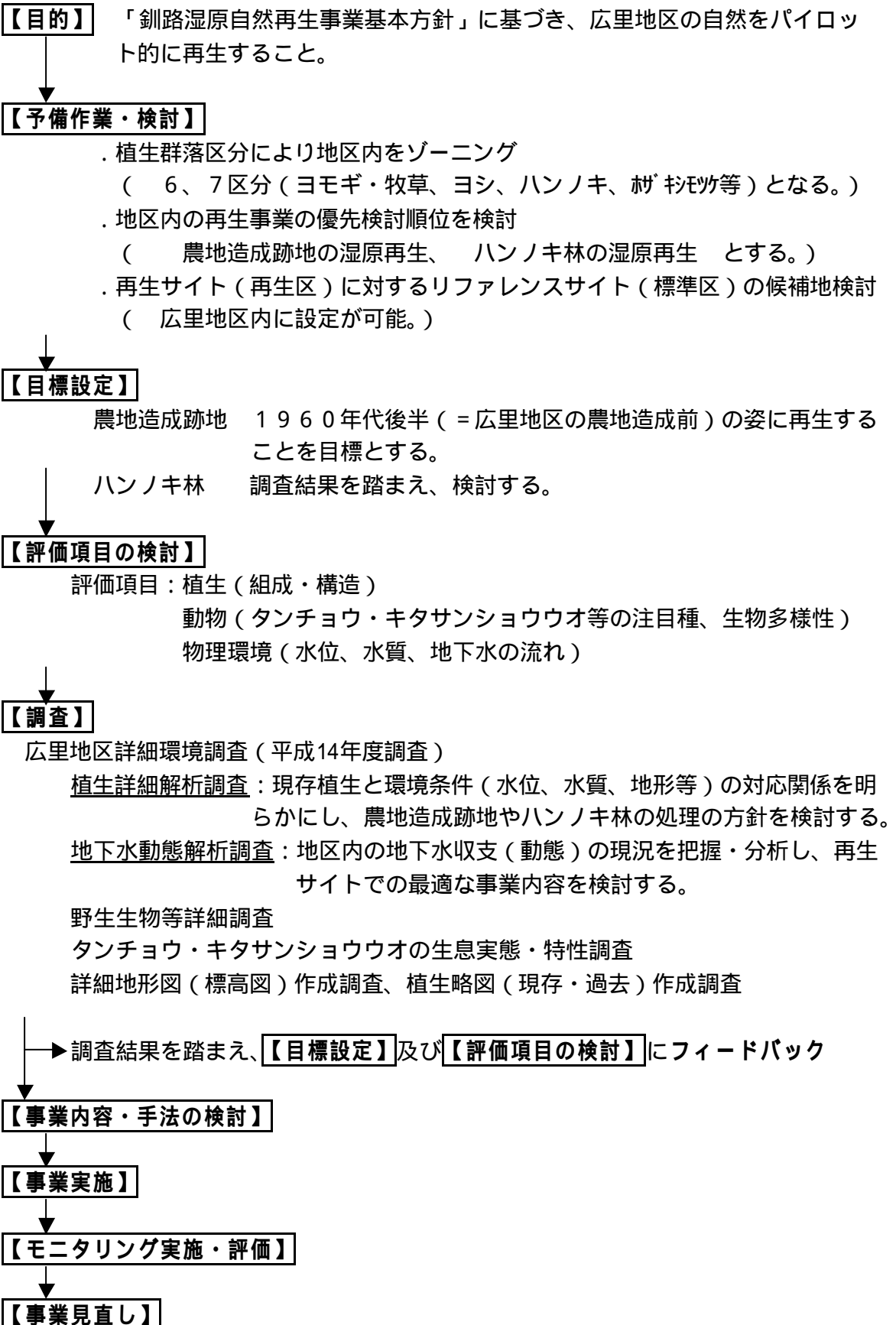


環境省自然再生事業候補地域

環境省

4.2 広里地区の調査・事業の進め方

広里地区の調査・事業のフロー



4.3 広里地区詳細環境調査の概要

(1)調査目的

広里地区における自然再生事業は、当該地区内の農地造成跡地を 1960 年代後半の湿原に再生すること等を目指している。そのためには、事業実施区(再生サイト)及び標準区(リファレンスサイト)を含む地域の物理化学的、生態的環境を広域的かつ定量的に捉え、生態的環境と物理化学的環境との関係を科学的に解析する必要がある。この解析に基づき、現状及び再生すべき湿原の構造を把握し、再生事業の内容・手法やモニタリングの項目・手法等を検討することが可能となる。

そこで本調査では、植生詳細解析調査、地下水動態解析調査、野生生物詳細調査、詳細地形図作成調査等を行い、検討に必要な資料を収集し解析することを目的とする。

(2)調査地

北海道釧路市広里地区 約 260ha

(3)調査項目

1)植生詳細解析調査

詳細植生調査、樹齢調査、埋土種子調査、土壌水の水質分析

2)地下水動態解析調査

地質調査、水位観測(地下水水位、河川水位)、地温・水温調査

3)野生生物等詳細調査

哺乳類調査

鳥類調査(鳥類相、タンチョウ行動圏調査、タンチョウ採餌環境調査)

爬虫類調査、両生類調査(キタサンショウウオ)

昆虫類調査、土壌動物調査

気象調査(雨量、気温)

4)詳細地形図作成調査

(4)調査内容

1)植生詳細解析調査

詳細植生調査(現存植生タイプの把握、現存植生図作成)

広里地区に現存する主要な植生タイプを決定し、その種組成を明らかにする。それを基に、広里地区に現存する主要な植生タイプの平面分布を明らかにする。

水位・水質環境の現状把握

広里地区における水位・水質環境の現状を把握し、植生分布との対応関係を明らかにする。再生サイト、リファレンスサイトにおける植生と環境間の関係が広里地区全体からみた場合にどのように位置づけられるかを明らかにする。

ハンノキ萌芽の要因解析

広里地区中心部に分布するハンノキ萌芽林の成立時期及び成立要因を明らかにする。

再生サイト土壌における埋土種子の評価

表土剥ぎ取り処理に際し、再生サイト土壌中の埋土種子からの植生再生を行うことにより、本来そこに発達していた個体群と遺伝的・種組成的に同じ植生の発達が可能となる。従って、再生サイトの土壌が有する有効な埋土種子を量的・質的に把握し、表土剥ぎ取り処理後の植物再生ポテンシャルを検証する。